高浜市 なぜ今、行財政改革なの？

守るための再起動。

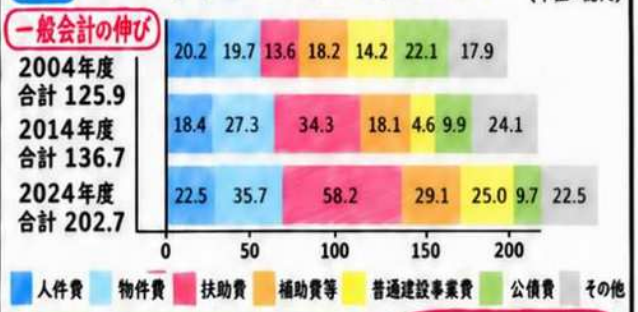
税収は落ちていない。けれど、支出の伸び方が変わった。

1 市民の疑問



2 20年間で何が増えた？

（一般会計歳出）
（単位：億円）



市税の推移

2004年度 72.8億円
2014年度 87.5億円
2024年度 99.2億円

一般会計は20年間で**約1.6倍**。
市税は**約1.4倍**。
市税より、**支出全体の伸びが大きい**。

3 扶助費って？

約4.3倍（20年間）

児童手当、子ども医療、障がい福祉、子ども発達支援、生活保護など、人を支えるサービスが広がるほど増えるお金です。



4 物件費って？

約1.8倍（20年間）

ごみ収集、給食調理、施設管理、委託料、デジタル化などにより、暮らしを支える毎日の経費です。
物価の上昇などにより、増えやすい傾向にあります。



5 この20年で、市民サービスは充実し、施設の維持にも力を入れてきました



6 まとめ：支出の構造が変わった

大事なのは、「無駄が増えた」と決めつけることではありません。
市民サービスが広がる中で、**支出の構造が変わってきた**、ということです。



税収は落ちていない。でも、支出の伸び方が変わった。

1/2

高浜市役所行財政改革グループ
電　話　0566-95-9546
メール　gyokaku@city.takahama.lg.jp

高浜市 だから、何をするの？

～守るための、再起動。～

守るための、再起動。

1 令和7年度の収支イメージ（一般会計）



この7億円の不足って、どういう意味ですか？

収入	−	支出	=	不足
200億円		207億円		7億円



この不足していた7億円の分は、これまで**市の貯金（基金）**を**取り崩**して、補ってきました。



2 足りない7億円は、無駄づかい？



いいえ

この7億円は、**市民の皆さんのためのサービスに使って**きたものです。



子育て・教育	福祉・医療	ごみ・環境	道路・公園まちづくり	防災・安全
				
・児童手当 ・保育園・こども園 ・学校の整備 など	・高齢者支援 ・障がい福祉 ・医療の充実 など	・ごみ収集 ・リサイクル ・環境保全 など	・道路の整備 ・公園の維持 ・まちのにぎわい など	・防災対策 ・消防・救急 ・交通安全 など

3 これまでのサービスや建物を、そのまま続けることが難しくなっています。



今までどおり全部のサービスや建物を続けるのは、難しくなってきているんですね…

公共施設の老朽化	維持管理費の増加	古い仕組み・制度	人口・社会構造の変化
			
建ててから長い年数がたち、老朽化が進んでいます。	建物の修理や運営にかかる費用が、年々増えています。	時代に合わせたルールや仕組みが必要になっています。	人口の減少や高齢化で、市民のニーズも変わってきています。

4 だから今、市のサービスを「この時代・未来に合った形」へ見直していきます。

これまで



- これまでの施設・サービス
- 全ての施設を維持
- 同じやり方で継続

→ **守るための再起動** →

大切なものは守りながら、よりよい形へ見直します。

これから（この時代・未来に合ったサービス）



- 必要なサービスを充実
- 施設の統合・再編・長寿命化
- 民間活用・デジタル化
- より効率的で効果的な行政経営

5 今のままを保証するものではありません



これからも安心して暮らしていくために、必要な見直しなんですね。



今のままを保証するものではありません。
守るために、変えるべきところは聖域なく見直します。



6 行財政改革の考え方

1. 支出の構造が変わった
2. 貯金を取り崩して市民サービスに使っていた
3. だから、守るために変える



未来の高浜市のために、一緒に進めていきましょう！

“何を切るか”ではなく、“何を守るためにどう変えるか”